

## 市長メッセージ

2



熱海市長 齊藤 栄

### 「市長タウンミーティング」

11月の1カ月間にわたり、「市長タウンミーティング」を市内7箇所（多賀・網代・中部・西部・東部・伊豆山・泉地区）で開催させていただきました。開催にあたっては、各地区の町内会長の皆様に大変お世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。

合計で496人の方が参加されたのですが、参加者の皆さんから、市政に対して貴重なご意見をお伺いしていただけでなく、私達もいくつかの「気付き」がありました。今回は、①新庁舎の建設について②懇談（地域の課題、市政への要望など）の大きく2つの議題で行いました。新庁舎建設に関連して、熱海市の財政状況についての説明を行ったのですが、『起債』という言葉の意味が良く分からない」というご意見があり、市役所が普通に使っている言葉をもっと分かりやすく説明する必要があるということに気付きました。

「市長タウンミーティング」の開催趣旨は「開かれた市政」の実現にあります。私はこれまで以上に、市役所から積極的に市民の皆さんに情報公開をしていきます。また、常に市民の皆さんの視点に立って、「分かりやすい情報の提供」に努めていきたいと考えております。

今後は、地域ごとにテーマを設定したタウンミーティングも開催し、皆さんと問題を一緒に考える場を作っていきたいと思っております。まだまだ試行錯誤で、いたらない点も多いと思いますが、皆さんのご参加・ご協力をよろしく願います。

# 市長メッセージ



## 市長に就任して



熱海市長 齊藤 栄

9月14日に熱海市長に就任して、約2ヶ月が経ちました。この間、市役所の担当部課からの業務説明、関係団体に対するご挨拶、市議会答弁、中国への海外出張、週末のイベントへの参加など、時間があつという間に過ぎてしまいました。約4万1600人の市民の皆さんの命と生活を預かる仕事は重責です。気を緩める余裕はありません。しかし、イベントの会場や、徒歩での通勤途中で「新市長、頑張ってください！」と声をかけられると、本当に嬉しく元気が出ます。

また、100歳を迎えられた高齢者のお宅へ訪問した際に、「市長さんありがとう」とベッドに横たわりながら涙ぐんで言われた時には、自分の仕事の意味を再認識させていただきました。

市長として仕事を始めて、改めて熱海市の抱えている問題の大きさに驚きます。特に財政の問題は深刻です。373億円の市債残高が既に存在しています。今後、庁舎建設、水道管の取り替え、駅舎改築などを進めるならば、この額はさらに大きくならざるをえません。

私は熱海市の抱える問題に対して、市民の皆さんに正確な情報を提示していきます。その上で、皆さんとの対話を踏まえ、解決策を検討し、実行に移していきたいと考えております。

11月から行っている「市長タウンミーティング」はその一環です。新庁舎の建設や市民生活の身近なことなどについて、ご意見を伺いたいと思います。多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしております。